

埋入径
Φ 3.7

骨内長
6 mm

形状
ST

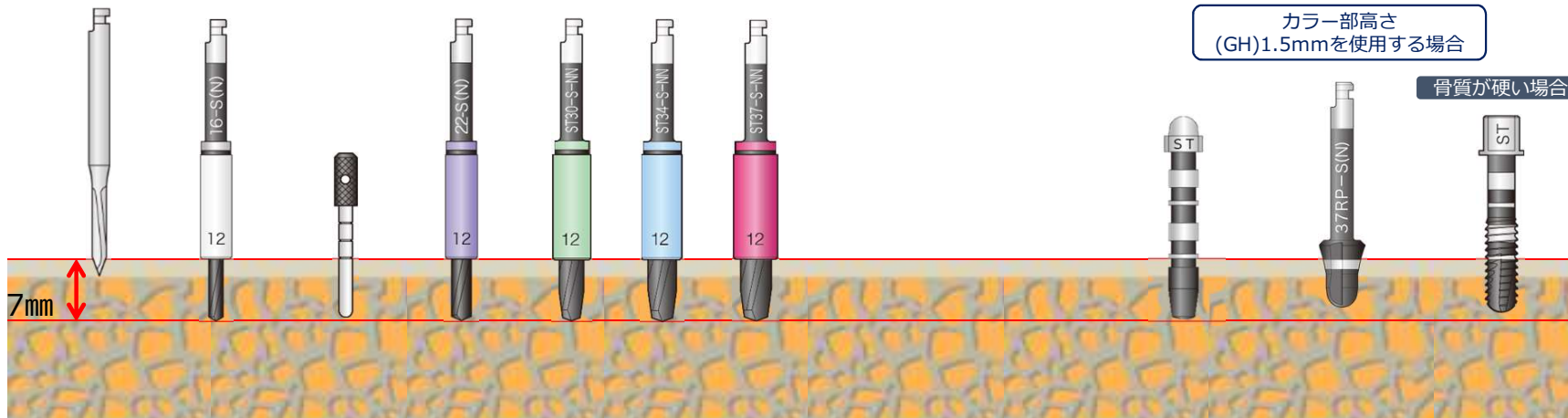
ストップ
#12
(ドリルス)

埋入径
Φ 4.2

骨内長
6 mm

形状
ST

ストップ
#12
(ドリルス)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
ST-S

34
ST-S

FINAL DRL
37
ST-S

TRIAL
GUIDE
ST-37

PROFILE
DRL37
RP-S

TAP
FORMER
ST-37

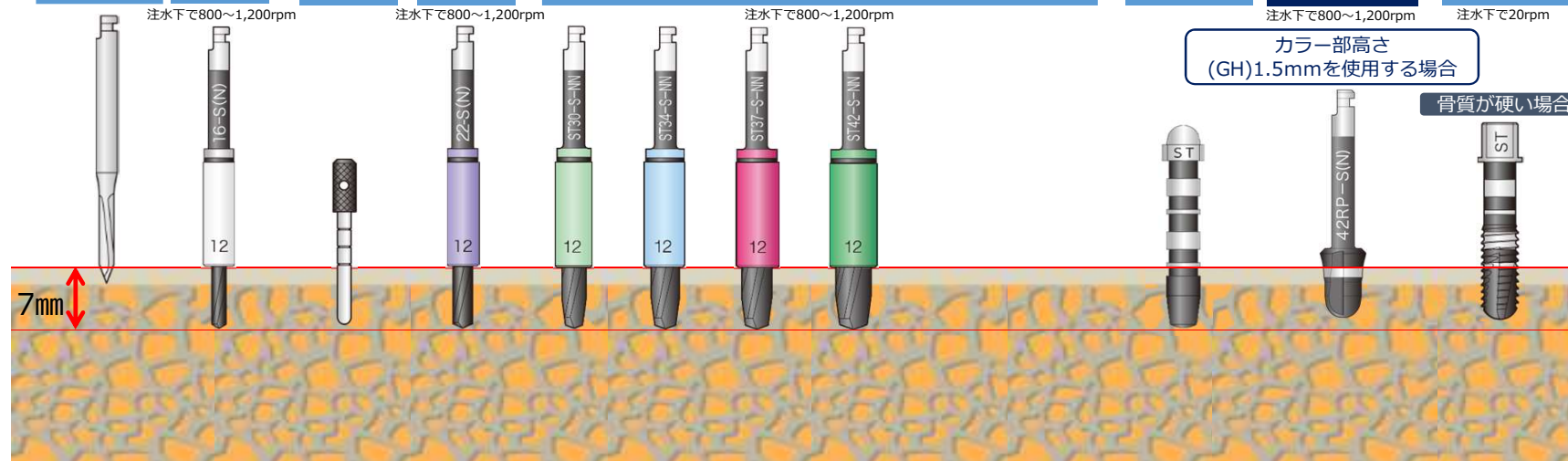
注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で20rpm



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
ST-S

34
ST-S

FINAL DRL
37
ST-S

42
ST-S

TRIAL
GUIDE
ST-42

PROFILE
DRL42
RP-S

TAP
FORMER
ST-42

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

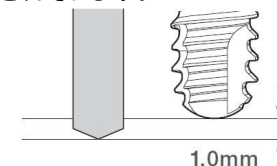
注水下で800~1,200rpm

注水下で20rpm

注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩洞形成の原因になりますので使用しないでください。

2. パイロットドリルとファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm 長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



5. プロファイルドリルは先端が丸く (N)のマーキングがあることを確認してください。



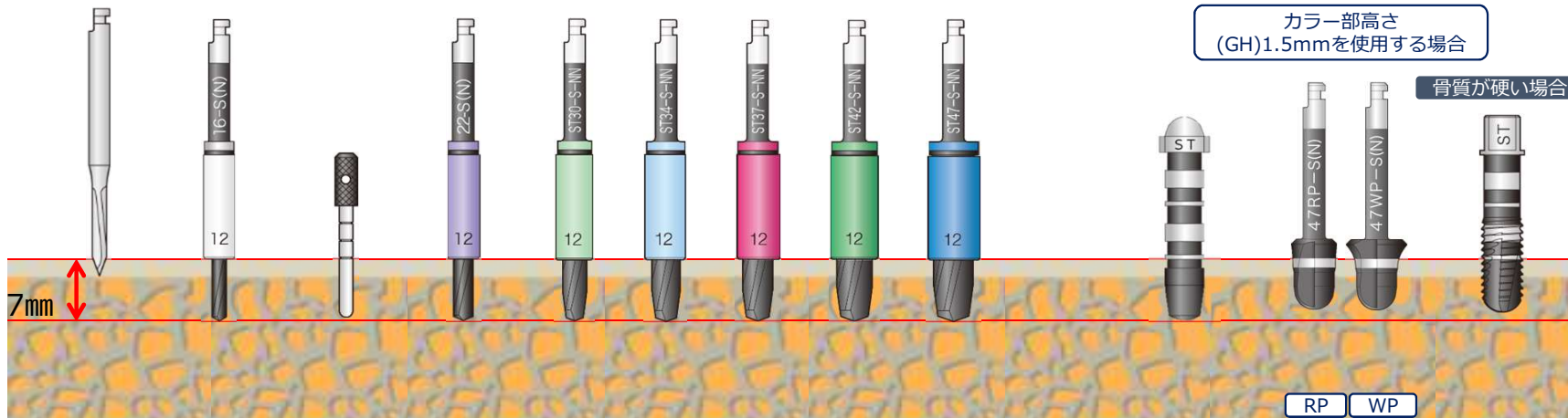
6. タップフォーマーは、形成窩に合わせて傾かないように使用してください。タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3回戻し、再度タップ形成を行ってください。

埋入径
Φ 4.7

骨内長
6 mm

形状
ST

ストップ
#12
(ドリル)



MARKING
BUR-M

PILOT
DRL
16-S

TRIAL
PIN
16-S

PILOT
DRL
22-S

30
ST-S

34
ST-S

FINAL DRL
37 ST-S 42 ST-S

47
ST-S

TRIAL
GUIDE
ST-47

PROFILE
DRL 47
RP/WP-S

TAP
FORMER
ST-47

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で800~1,200rpm

注水下で20rpm

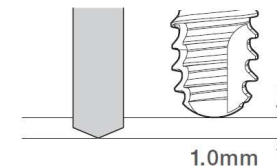
カラー部高さ
(GH)1.5mmを使用する場合

骨質が硬い場合

注意

1. 消耗したドリルは、発熱や不正確な窩洞形成の原因になりますので使用しないでください。

2. パイロットドリルとファイナルドリルの刃長は、インプラント体よりも1.0mm 長く設定されています。



3. 手術中の誤飲を防止するために、市販の誤飲防止用チューブや縫合糸をトライアルピン/ガイド頭部の孔に通して使用してください。デンタルX線撮影による確認を推奨します。

4. ファイナルドリルは-NNタイプであることを確認してください。



5. プロファイルドリルは先端が丸く (N)のマーキングがあることを確認してください。



6. タップフォーマーは、形成窩に合わせて傾かないように使用してください。タップ形成の際、骨質が硬い場合は2~3回戻し、再度タップ形成を行ってください。

■ TLインプラント体の粗面が露出する場合の注意点

- 埋入位置の骨形態によっては、インプラント体のカラー部が骨に干渉し、公称骨レベル以下の粗面が露出する場合があります(図1)。 TLインプラント体のサイズに対応するプロファイルドリル(図2)を選択し、骨頂の低い位置がインプラント体の公称骨レベルになるよう、必要に応じてプロファイルドリルで干渉部の除去を行ってください(図3)。プロファイルドリルは回転数800rpm~1200rpmで十分な注水下で使用してください。
- 干渉骨の除去により公称骨レベルが想定より下がった場合、埋入窩の深さが足りなくなります。埋入するインプラント体の骨内長サイズを変更するか、顎骨量や血管・神経までの距離が十分にあれば再度ファイナルドリルにより埋入窩形成を行ってください。

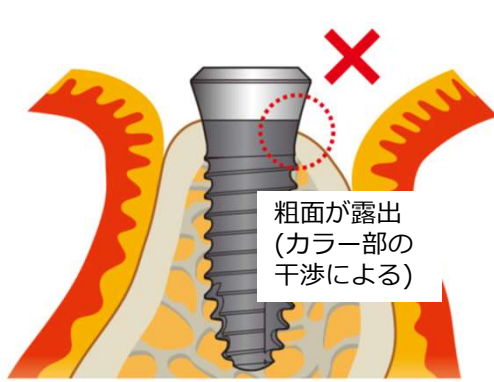


図1



図2

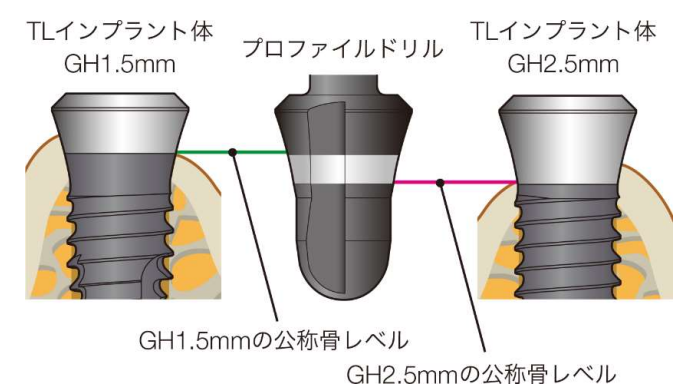


図3

注意

- Relios(FINESIA BE)用のプロファイルドリルをご使用ください。プロファイルドリルの先端が丸く、(N)のマーキングがあることを確認してください(図4)。



図4



- 埋入するインプラント体のカラー部高さの公称骨レベルに対応した目盛りを確認してください(図3)。不適当な目盛りのラインを選択すると、干渉する骨を十分に除去できない、あるいは必要以上に除去してしまい、インプラント体の適切な埋入ができなくなります。

■ TLインプラントの埋入（マイクロモーターによる埋入手順）

1. 外箱からアルミバッグを取り出します。 2. 容器を清潔域に取り出します。 3. 容器の蓋を外します。



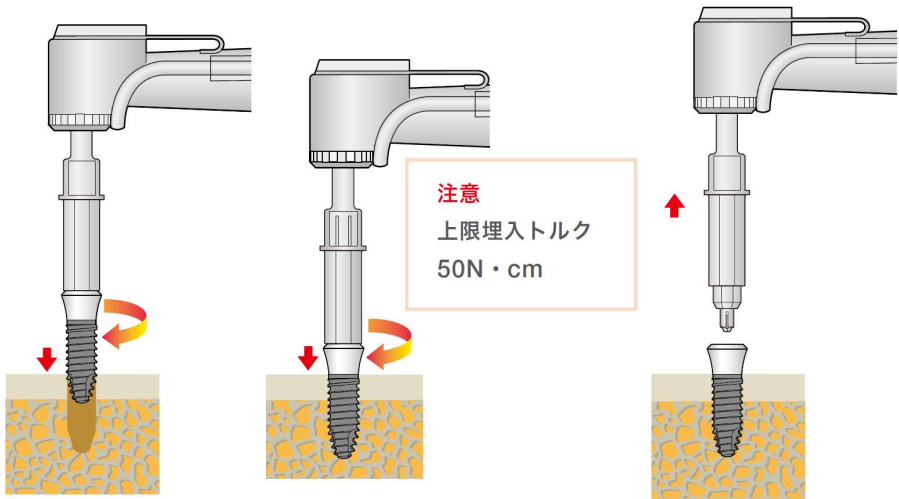
1. マイクロモーターに装着したインプラントドライバーCHをインプラント体に装着し、インプラント体を容器から取り出します。

2. マイクロモーターを用いてインプラント床にインプラント体の埋入を開始します。

3. インプラント体を20rpm 以下の回転数で正回転させて最終位置まで埋入します。
※必要であれば、トルクレンチに変更し、埋入します。
インプラントドライバーCHを取り外します。

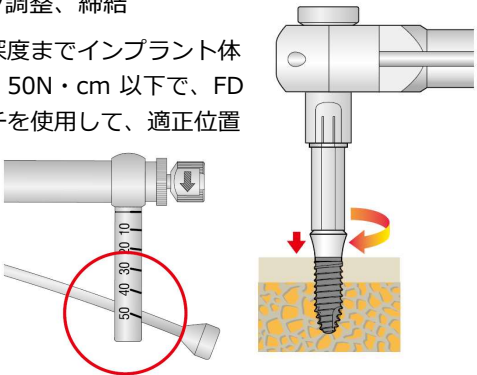


インプラント
ドライバー CH



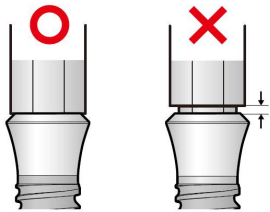
参考 最終トルク調整、締結

モーターで目的の埋入深度までインプラント体が埋入できない場合は、50N・cm 以下で、FDアダプタとトルクレンチを使用して、適正位置まで埋入します。



注意

1. インプラント体を容器から取り出す際は、容器内のリングに擦れないようにまっすぐ引き抜いてください。
2. インプラントドライバーCHをインプラント体に装着する際は、奥までまっすぐに挿入してください。



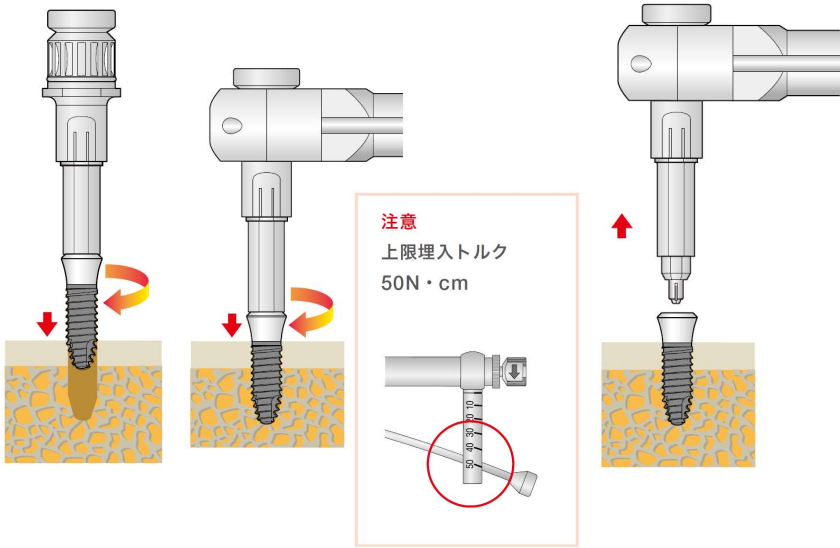
3. FD アダプタは繰り返し使用によって、把持力が低下する場合があります。使用前にインプラントドライバーと組み合わせて、把持力が保たれているか確認してください。
※トルクレンチによる埋入時のみ
4. 埋入トルクが50N・cm を超える場合、インプラント体を一度抜き、タップフォーマーでタップ形成を行った後、再度インプラント体を埋入してください。
5. インプラント体植立後は適切な免荷期間を確保してください（下顎では3ヵ月以上、上顎では6ヵ月以上）。

■ TLインプラントの埋入（マニュアルによる埋入手順）

1. 外箱からアルミバッグを取り出します。
2. 容器を清潔域に取り出します。
3. 容器の蓋を外します。

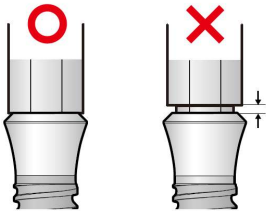


1. FD アダプタを用いてインプラントドライバー CH をインプラント体に装着し、インプラント体を容器から取り出します。
2. FDアダプタを用いてインプラント床にインプラント体の埋入を開始します。
3. インプラント体を正回転させて最終位置まで埋入します。
インプラントドライバー CHを取り外します。



注意

1. インプラント体を容器から取り出す際は、容器内のリングに擦れないようにまっすぐ引き抜いてください。
2. インプラントドライバーCH をインプラント体に装着する際は、奥までまっすぐに挿入してください。



3. FD アダプタは繰り返し使用によって、把持力が低下する場合があります。使用前にインプラントドライバーと組み合わせて、把持力が保たれているか確認してください。
※トルクレンチによる埋入時のみ
4. 埋入トルクが50N・cm を超える場合、インプラント体を一度抜き、タップフォーマーでタップ形成を行った後、再度インプラント体を埋入してください。
5. インプラント体植立後は適切な免荷期間を確保してください
(下顎では3ヵ月以上、上顎では6ヵ月以上)。

本術式チャートに記載されている製品は、下記の医療機器承認／届出番号を取得しています。

販売名	分類	一般的名称	承認 / 届出番号	クラス分類
FINESIA TLフィクスチャー BE	高度管理医療機器	歯科用インプラントフィクスチャ	30500BZX00286000	Ⅲ
FINESIAインプラント用手術器具	一般医療機器	歯科用インプラント手術器具	26B1X10012101122	Ⅰ
歯科用トルクレンチ	一般医療機器	手術用レンチ	26B1X10012108103	Ⅰ
インplanターNeo Plus2	管理医療機器	電動式骨手術器械	303ALBZX00014A01	Ⅱ

製造販売元：京セラ株式会社